

平成29年度第4回宝塚市パブリック・コメント審議会議事録

- 1 開催日 平成29年10月30日(月) 9時55分～11時45分
- 2 開催場所 宝塚市役所3階 特別会議室
- 3 出席者 委員8名、事務局3名
- 4 議事
(1) 平成28年度に実施したパブリック・コメント手続の個別評価(案件No.13～17)について

○事務局 <開会>

出席者委員の報告。8名中8名の出席で、審議会は成立。傍聴希望者はなし。

○会長 本日は前回の続きで案件 No.13～17 について審議をする。議事に入る。No.13「宝塚市労働施策推進計画(案)」について、各委員から意見を頂戴する。

○委員 誰にでも興味を持ってもらいやすい内容であり、グラフや表も適切に使用されており良い。「第一次産業」「第二次産業」等といった言葉は、欄外に注釈をつけた方が良い。表の中には数字が多く見にくいところもあった。もう少し字が大きい方がいいのではないか。全体評価としては良い。評価は「B」。

○委員 評価「B」。回答は意見を真摯に受け止めており、丁寧さが見受けられた。第2章あたりが、表・グラフが多く、これを理解しながら読み進めていくとなると、全体像が把握しづらいという印象を受けたので、データの数が多すぎたと思った。

○委員 評価「B」。難しい問題に真正面から丁寧に取り組んでいるので印象が良かった。

○委員 評価は「E」。

○委員 評価「A」。文言の整理をしてより良いものにしようとする気持ちが伝わったが、意見に対する考え方が具体的に記載されていない。少しでも記載があればと思った。

○委員 評価「A」。表が多く、表の前に何も説明がないところもあるので、少し説明の文章を入れた方が良い。

○委員 評価「A」。概要版はわかりやすく、数字も書いており良い。計画案の中に諮問書・調査の概要・アンケートが資料の中に入っており良い。結果については意見内容と市の考え方・見直しの結果も書かれている。その後の結果も資料として付いており、良い。

- 会長 委員から指摘のあった施策内容について評価すべきか、パブコメの水準について評価すべきか、以前論議しました。施策の内容については外すことになったと記憶している。委員の評価を「E」評価から「C」評価に変更してよいか。(委員了承) また、私の個人的な総合評価も「B」に変更する。委員の評価も変更があるので、点数が変更となる。後程点数を聞いたうえで全体評価に移る。
→4.25 点で評価「B+」
- 会長 次に No.14「第10次宝塚市交通安全計画(案)」について、同様に意見を求める。
- 委員 要点をA3にまとめられており、わかりやすい。本文も固い内容だが、写真などでカバーできているのでわかりやすい。文章になっている部分が多いので、内容の入りやすさが興味ある方と無い方で分かれてくるのではないかと思った。評価「B」。
- 委員 評価「E」。概要版を見る限り、ポイントがどこにあるかわかりづらい。第10次と第9次の違いは何か。第10次の核となる施策がわからない。
- 委員 評価「B」。危険箇所を地図などに入れてもらうとよりわかりやすい。評価「A」に変更する。
- 委員 資料としては見やすい。道路整備ができていなければ政策もしにくいという気もするので、評価「C」。
- 委員 表紙「共に考えてみませんか?」の「みませんか?」はNG。意見に対する考え方は非常に丁寧に答えている。No.7の公共交通機関利用の促進のところでは、すばやい対応もされており良い。評価「A」。
- 委員 評価「B」。文章の項立てをもっとわかりやすく表現してほしい。(2-1、2-1-1等)
- 委員 募集要項の後ろにすべて資料が付いている。第9次と第10次の違いは「見ればいい」とあるが、募集要項に書かれていないので「C」としていたが、「B」へ変更。
- 会長 評価の変更があったので、全体評価は後程行う。
→3.63 点で評価「B」
- 委員 17 頁(オ)の記載内容に不明点があるので、担当課に確認を求める。
- 会長 ナンバリングの付け方について意見があったが、市で指導方針はあるか。
- 事務局 文書法制事務の手引に沿った形にはあり、それに準じてはいる。

- 会長 公文書の場合は良いかもしれないが、啓発文の場合は使わない方が良いと思われる。「アイウエオ…」順の後に「12345…」とくるのでわかりにくい。
- 事務局 確かに左側に寄せていることで見にくさを感じる。また、表記の統一がされていない部分もあるので、ご意見をいただいたことについては担当課をはじめ全庁的に伝える。
- 会長 次に No.15「生物多様性たからづか戦略行動計画見直し（案）」について意見を頂戴する。
- 委員 結果公表については構成がわかりやすく、フォントやラインも工夫されており、視覚的に訴える効果が良かった。専門的な内容になりがちなものを、コラム等で理解しやすいようにまとめられているので良い。1点残念なのが写真をよく使用しているが、印刷上の問題なのか、地図など色の関係が分かりにくいところがあった。評価「A」。
- 委員 評価「B」。非常に見やすさを感じた。意見に対しても真摯に受け止めている印象がした。
- 委員 評価「A」。とてもわかりやすく書かれており良い。
- 委員 評価「C」から「B」へ変更。よくできているが、地図は場所が指定して書かれているが、一般の人が見たとき、少し分かりにくい気がした。
- 委員 評価「A」。表紙が他と違う。募集の意見の記載も後付けになっていた。全体にはよく書けており、コラムも良い。興味を持って読んでもらえると思った。
- 委員 評価「A」。変更項目についての書き方が手本となる書き方である。修正・追加等が種類で書かれており、そこでコメントも書かれている。変更箇所が一目瞭然である。
- 委員 評価「C」。資料をつけていないので、募集要項だけでは評価が低い。全体的にゴタゴタしており、何がポイントかがわかりづらいので、もう少し精査をしてほしい。変更だけを出して書かれているのは高く評価できるが、パブリック・コメントとしては評価が低い。
- 委員 市民に意見を求めるものとしては凝り過ぎではないか。
- 会長 評価「C」。読んでいくうちに混乱してくる。専門の人でなければ分かりにくい内容。全体評価としては4.25点で評価「B+」。
- 次に No.16「宝塚市立病院改革プラン2017（案）」について意見を頂戴する。

- 委員 評価「A」。市民にとっては難しい内容であり、意見もほとんどなかった。プランと解説に分けて、病院という特殊な分野の課題や説明が分かりやすくまとめており、良い。自分自身が関わっていないと流れがイメージしづらいので、組織図等あればより良かった。
- 委員 評価「E」。概要版がなかったのでわかりにくかった。市民にとって生活に直結するような重要な案件にもかかわらず、意見が0件。それに伴って働きかけもなされていない。
- 委員 事務の方の意見が全く入っていない。どう行きやすい病院かという視点がないので、「D」評価。
- 委員 設備に伴った医療体制ができているかの評価があまり示されていないので、「C」評価。
- 委員 評価「A」。意見の提出が0件なのは、市民の皆さんに言うてはいけない。パブリック・コメントについて、事務局側が市民の皆さんに働きかけをする必要があると思っている。
- 委員 評価「C」。概要版がない。
- 委員 概要版がないのは決定的で評価は「D」。意見を求めたい熱意が感じられない。
- 会長 評価「C」。概要版がない。病院用語をもっと分かりやすくしてほしい。全体評価としては「C」。
- 委員 (全員一致)
- 会長 最後 No.17「宝塚市新ごみ処理施設整備基本計画原案」について意見を頂戴する。
- 委員 評価「A」。日常的に切り離せない問題であり、非常にわかりやすい。図式のページも良い。市民の意見も整理されており、それに対する答え方もまとめられており良い。ごみがどういう流れで処理されているか、写真を載せたりすると良かったかもしれない。
- 委員 評価「B」。市民の方の色々な意見に対しても、丁寧に対応されている。
- 委員 評価「C」。地図をつけてほしかった。
- 委員 内容的には、市民の生活負担を軽くする方法になっているのではないかという気がする。良い計画ということで「B」評価。
- 委員 評価「A」。「原案のとおりにします。」と言いながらも丁寧に答えている。
- 委員 評価「B」。本文よりも概要版の方がわかりやすい。
- 委員 評価「B」。全体的に読みやすい。概要版も良い。募集要項の時

に、「原案」についてどう答えるかというのを市民は見ているが、丁寧に答えているので良い。

○会長 評価「C」。処理方式付随施設については分かりにくい。言葉ももう少し分かりやすく。全体評価としては「B」とする。

○会長 以上で採点は終了したが、これを答申にして出していくことになる。審議会を通じての意見・印象などを頂戴したい。

○委員 市役所が生活にどう関わっているかがわかって良かった。他人事ではなく、自分たちの生活に深く関わりがあるので、パブコメ自体にももっと多くの人に関わってほしい。市の広報でももっとアピールをしても良いのではないか。

○委員 全体を通じて各案件について温度差・市民の関心の違いが見られた。各担当部署の意見を求め方について、積極的なのかそうでないのか、正直感じられた。もっと市民に理解を求められるように市が動いてほしい。募集期間について30日以上というのは、ほとんど案件が1か月で終わっている。規律が定まっていないのであればもう少し猶予を設けても良いのではないか。期間内に収まらない案件などもあるので、各課が案件について日数の見方を真剣にとらえていってほしいという気がした。

○委員 市役所は色々な仕事があるので、市民に目を向けられていないのではないか。難しさを易しくできていないのではないか。全体的に地図が無い案件が多いことは致命的。意見に答えていないことが多い。管轄外の意見に対しても却下とせず真摯に答えてほしい。

○委員 市民に意見を求め、それに対し行政が答えるが、ほとんどが「従来通り・計画通り」で終始している。政策を結論まで導いたうえでパブコメを行っているのか、アバウトな段階で行っているのか、そこで違いがあれば意見やそれに対する答え方にも変わってくる。どの段階で行うかという規律を明確にした方が良い。

○委員 様式は統一した方が良い。市が市民の生活に直結していること、パブコメのことをどのようにすれば市民に広げていけるか、未来のために子どもたちにも早い段階で知らせる必要があると思った。

○委員 意見を出した方は身に迫った方が多いと思われる。市はできるだけ意見に対して答えてほしい。市の方針として「協働だ」と言われるが、口が先に走っており実態が見えない。関係するコミュニティとも協議してほしい。

○委員 全体的に良くはなっている。参考資料をつけてパブリック・コメントをする原点は強調して言いたい。マニュアルが出来たので、これからはスムーズにいくのではないかと思う。

○会長 総括的には年々レベルは上がっているので評価する。行政内部における認識も広がっており定着しており良い。それを踏まえて評価をするが、

①概要版は前提条件として100%入れてほしい。本編の一部を抜粋して概要版とするのは手抜き。

②いただいたご意見に対する答え方の中で「官僚的」な面が見受けられるのは残念である。当該部局では関係のない意見があったとしても、「関係部局に伝える」等の特記しておいた方が良い。

③パブコメを行うタイミングは、九分九厘できた段階で市民にもオープンにし、意見を出してもらえるように行政は動いてほしい。情報の共有であるとともに協働作業でもある。協働作業に応じうる階層・グループの市民ばかりでない中で協働していかなければならない。行政ももっと啓発していくべき。専門知識がある市民もいれば、そうでない市民もいる。その二重のパートナーシップを意識して行ってほしい。アライバイ・下請け型・情報公開の一環であるという認識は完全に改めてもらいたい。市民との協働作業だという認識を持ってほしい。

以上を今度の答申の中に盛り込めたらと思う。

○会長 次の議事「パブリック・コメントの運用状況について」

平成28年度にパブコメを実施していなかった案件はあるか。

○事務局 パブリック・コメントを実施しなければならないような、市の重要案件を審議する、都市経営会議の議題を調査しましたところ、平成28年度において、パブリック・コメントを実施しなければならないにもかかわらず、実施していなかった案件はなかった。

○会長 本日の評価の結果がすべて揃った。委員からいただいた意見を踏まえて答申案にまとめ直す。答申は、全体的な総括評価と17件の個別評価で構成する。17件のそれぞれの個別評価については表形式にして、A～Eまでの評価と評価コメントを箇条書きにする（抜粋あり）。会長・会長代理で答申をまとめながら事前に各委員に郵送する。各委員からご意見をいただいて、最終調整をし、市長に提出する。次の段取りを事務局から説明

をお願いする。

○事務局

次回の審議会は11月13日（月）午前10時から特別会議室にて行う。答申を市長に提出する日程は、12月25日（月）午前10時から30分程度で予定している。この日は審議会ではないが、できるだけご出席いただきたい。日が近づけばご案内する。

○会長

以上で本日の審議회를終了する。